

# 第9回熊本県高校生ものづくりコンテスト

## ー測量部門の審査員を引き受けてー

外村隆臣

環境建設技術系

### 1 はじめに

熊本県高校生ものづくりコンテストは、工業系学科及び総合学科に学ぶ高校生に努力目標を与えることにより、ものづくりに関する技術・技能の継承と向上を図り、産業の発展を支える人材の育成を目指すとともに、県民のものづくりへの関心を高め、技術・技能を尊重する社会的機運の醸成を図ることを目的として開催される。県大会において優勝すると九州大会へ、さらに九州大会で優勝すると全国大会へと進むことが出来る。今回は第9回熊本県高校生ものづくりコンテストの測量部門の審査員を引き受けて参加したのでその報告をする。

### 2 内容

熊本県大会は平成24年6月16日、17日開催された。熊本県大会の競技種目は旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測定の7部門である。16日に競技説明、抽選、会場下見等があり、17日に開会式の後、競技が始まる。測量部門の競技内容はトータルステーションを用いた「閉合トラバース測量とその計算」で、午前中に外業、午後から内業を行う。1チーム3名（1校1チーム）である。採点は作業時間、誤差、計算の正確さ等を全国大会の採点基準に準じて行う。競技後、審査員からの講評を行い、閉会式で上位入賞校（入賞者）の発表と表彰式が行われる。

### 3 まとめ

参加した高校生達は大会に向けて日頃より練習を積んできており、競技中は高い測量技術を見ることができた。特に今大会は全体的にレベルが高く、どのチームも高得点を出す結果となった。日頃の練習の結果を発揮できたのではないかと思う。大会の結果は <http://sakura1.higo.ed.jp/sh/tamanath/mono-kumamoto/index.html> に掲載されている。

前大会に引き続き測量部門の審査員として参加した。熊本県大会の審査員は全部門合わせて15名で、測量部門は私1人であった。このような大会の審査員を受けることができ、技術者として非常に光栄である。競技後の講評では、業務上、普段から測量に携わる機会が多いため、自身の経験を踏まえた講評を行うことが出来た。今後も機会があればこのようなイベントに積極的に参加したい。